

後援会会報

〒065-0013 札幌市東区北13条東3丁目1番30号 TEL 011-741-1051 FAX 011-741-1077

2022年度事業報告 各種助成の実施について

学生関連助成の実施

後援会では、クラブ活動、ボランティア活動、天使祭等への事業運営助成を通じ、学生の方々が充実した大学生活を送れるように直接的・間接的な助成を行っております。

今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の限られた条件の中で、3年ぶりに体育祭を開催し、クラブ活動に取り組んだ学生の皆さんをご紹介します。

3年ぶりの体育祭

看護学科2年・体育祭実行委員長 三好凌太郎

新型コロナウイルスの感染拡大により2020年度と2021年度は中止となりましたが、感染防止対策の徹底や1日開催から午後みの半日開催とすることで、3年ぶりに体育祭を開催しました。体育祭についての事前アンケートにおいても感染リスクを懸念する意見はありましたが、多くの学生が体育祭開催を心待ちにしていることがうかがえて、今年度開催できたことを大変うれしく思います。

当日は、受付での検温や手指消毒、直近14日間の体調確認、水分補給等を除いて原則マスク着用、換気の徹底、大声での応援禁止等、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しました。競技については、事前アンケートで好評だった

たバレーボール、バスケットボール、ドッジボール、そして最後に綱引きの4種の競技を取り入れました。各クラスで各競技にエントリーする選手を決め、トーナメント方式で行いました。久しぶりの体育祭に参加した学生はそれぞれの競技でチームワークを発揮し、切磋琢磨しながら楽しんでいました。準決勝や決勝の試合では白熱した試合が繰り広げられていました。最後の綱引きでは、優勝チームとのエキシビションマッチを行い、参加してくれた方全員が楽しめるものになったと思います。観覧席では、拍手や自分たちで装飾したうちわ等のグッズで工夫してクラスメイトを応援していました。学生みなさんが協力して体育祭に参加してくれたおかげで、大きなトラブルもなく無事に体育祭を終えることができました。

今年度は徹底した感染防止対策や規模を縮小した形での開催となりましたが、この先きっと行動制限が大きく緩和され、来年度はさらに学生のみなさんが楽しんでもらえるような体育祭を作り上げてほしいと思っています。



在学生 × 卒業生 ＝ 学び + 経験 + 愛校心

↓
天使大学の部・サークルは、卒業生とのコラボレーションが盛んです。新型コロナによって一度は下火となった部・サークルの活動も、卒業生のお力添えによってまた息を吹き返しています。そんな2つの「素敵な出会い」をご紹介します。 ※天使大学の部・サークルは後援会から助成をいただき、活動しています。

ラ・コミーダ × ドラゴン・アロー

お弁当「天使のひととき」が
学内で大人気！



コロナ禍でさまざまな制限を求められ、思うような活動ができなかった多国籍料理研究サークル「ラ・コミーダ（部長 栄養学科2年 長岡せいらさん）」にとって、卒業生からの「誘い」は願ってもないチャンスでした。

本学栄養学科卒業生 原真梨さん（2017年3月栄養学科卒業）は、勤務する株式会社ドラゴン・アローで管理栄養士としての知識を活かして「至福のひととき」というお弁当を考案し、専門学校等で販売して好評を得ていました。そうした中、母校の学生たちと一緒に何かできないかと考え、学生たちが考案したお弁当を「天使のひととき」という、「至福のひととき」のスピンオフ企画として販売するお話を「ラ・コミーダ」に向けてくれました。

部長の長岡せいらさんを筆頭に、バイタリティあふれるラ・コミーダのメンバーがその「声掛け」に賛同し、農場体験などで道産野菜への理解を深めながら、早速お弁当の考案に取りかかりました。

まずはラ・コミーダの伝統メニューである「ラコミカレー」をお弁当にアレンジして、2022年10月14日（金）に学内で販売。学内者にとっては馴染み深いコナッツ風味のスパイシーなカレーは46食を売りあげ、横に添えたプチデザート「にんじんムース」も含め、評価は上々でした。

第2弾は「自分たちのオリジナルメニューで勝負したい」

と、何度も試作を重ねて臨んだ「和風ガパオライス」。ご飯がすすむ「甘辛いそぼろ」にシソが絶妙なアクセントとなっているこのお弁当は、ラコミメンバーの努力が見事に結実した一品に仕上がりました（11月28日（月）に44食を販売）。プチデザート「トマトカタラーナ」だけでなくサイドメニューとして「ヤンニョムチキン」も販売し、「和風ガパオライス」は「普通盛り」だけでなく「大盛り」にも対応するなど、前回のアンケートを参考にしてサービス面を向上。それだけに準備が大変でしたが、そこはメンバーのチームワークと部長 長岡さんのリーダーシップで、きちんと時間通りに提供することができました。

はたして第3弾は何を企んでいるのか。周囲からはバエリア、ビビンバ、ナシゴレンなどさまざまな希望が飛び交っていますが、中には「ラ・コミーダの作るものに間違いはないから全面的にお任せします！」との声も。そんなうれしい「期待のハードル」も、ラ・コミーダは軽々と超えてみせるでしょう。

◆ 株式会社ドラゴン・アロー 原真梨さん

「食を通して人生を豊かにしたい」。そんな同じ目的を天使の後輩たちと共有し、未来につながる活動ができたこと、大変うれしく思います。今後も「食の大切さ」を「学生とのコラボ弁当」という形で発信していきたいと強く思っています。協力していただいたすべての皆さまに恩返しができるように、そして、まだ見ぬ未来の天使生の食生活が豊かになるように、来年度もコラボ活動を通じて学生たちとともに歩んでいきたいと思っています。



Dolce × カフェ月祭

4種類のコラボドリンクを 考案しました



天使大学栄養学科の卒業後の進路は多様で、病院、保育園、企業だけではなく、自分のお店を構える人もいます。そんな1人である岡本紅羽さん（2016年3月栄養学科卒業）がオーナーを務めるカフェ「月祭（つきさい）」は、こだわりの焙煎・ドリップ・スイーツが魅力の人気店です。シックな雰囲気の店内にいますと、店主の丁寧な仕事ぶりも相まって、癒しのひと時が約束されます。

そんな月祭と菓子研究サークル「Dolce（ドルチェ、部長 栄養学科2年 高橋舞花さん）」がコラボドリンクの開発に乗り出したのは2022年7月。岡本さんは久方ぶりに母校を訪れ、Dolceのメンバーと一緒に「新しい美味しさ」を求めて、何度も何度も新作カフェの試作と試飲を繰り返しました。岡本さんは学生の発案を大切にしてくれながらも、お店で提供できるレベルの「美味しさ」になるまで妥協せず、学生たちも自分たちの味覚を研ぎ澄まして、岡本さんの期待に応えるよう力を尽くしました。そうして完成した4つの意欲作がこちらです。

「とろーりみたらし 大学芋ラテ」

「ほっこりかぼちゃラテ」

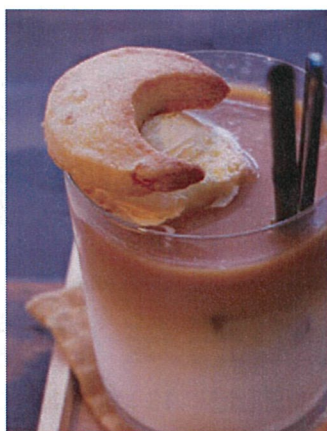
「月の塩キャラメルフロートオレ」

「やさしいマロンラテ」

これら4つのドリンクは、10月24日（月）から11月20日（日）にかけて、月祭にて週替わりで販売され、「完売」となる日が珍しくないほど好評を博しました。自分たちが考案したドリンクの反応をうかがおうと、土日にはDolceのメンバーが「1日店長」として店頭に立ちました。自分たちの知恵と工夫とたゆまぬ探求心を込めたドリンクを、実際に「美味しい」と飲んでくれる人を目の当たりにすることは、Dolceのメンバーにとって「美味しさを共感する喜び」を感じる、かけがえのない瞬間でした。

◆ 月祭店主 岡本紅羽さん

初めての天使の学生とのコラボ企画を、私も楽しませていただきました。ドリンクのアイデアをDolceの皆さんがたくさん出してくださいましたので、なるべく多く商品化してあげたいと思い、4種類を発売させていただきました。材料の都合などもあり、1日に提供できる数に限りがありましたが、お客さまからは大変好評でした。今回の活動を通じて、栄養学科を卒業した後、いろいろな道や可能性があるんだと感じてもらえたならうれしいです。Dolceのみんなはとても良い子で、可愛かったです。私にとっても良い出会いの場となり、感謝しています。ありがとうございました。



コーヒー屋さん 月祭

こだわりのコーヒー、美味しいスイーツ、心地よい空間。天使大学から徒歩5分の位置にある天使生・北大生御用達のカフェ。

- 住 所
札幌市北区北13条西3丁目
2-27 トミビルNo11 1階
- 営業時間
9:30~17:30 (lo 16:55)
(朝活の日 7:00~16:00 lo 15:30)
- 定 休 日 木曜日



教育講演会への助成の実施

後援会では、社会貢献活動として教育講演会への助成を行っております。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、2019～2020年は開催を見合わせておりましたが今年度は3年ぶりに開催の運びとなりました。

◆ 2022年度 天使大学教育講演会報告

看護学科 小野澤かおり・重岡 妙

2022年11月26日（土）に天使大学2303講義室において、天使大学後援会助成による天使大学教育講演会を対面とオンラインのハイブリッド形式で開催いたしました。

2002年から続く本講演会ですが、2020年と2021年の2年間は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防策として中止せざるを得ない状況となり、今年度は3年ぶりの待望の開催となりました。

開催にあたり、皆様にご満足いただけるテーマについて担当の教職員で話し合った結果、2019年の年末に不意に現れ、今も私たちの生活を脅かし続ける新型コロナウイルスはもちろんのこと、インフルエンザウイルスなど、私たちにとって身近な存在である“ウイルス”について、じっくりと学ぶ機会を設けたいと考え、「ウイルス感染とは何か」というテーマに決定しました。

また、教育講演会を対面で開催できるとなれば、2020年に完成した新しい校舎を参加者の皆様にご覧いただく機会にもなることから、新棟3階の大教室を会場とすることにしました。さらに、来学が難しい方にも聴講していただけるよう、オンライン参加も受け付けました。

広報についても、後援会会報と本学ホームページの他、天使病院や東区役所へのポスター掲示、北海道新聞 weekly イベントガイドへの掲載をお願いするなど、開催までに準備を重ねてまいりました。

今回の教育講演会の講師には、札幌医

科大学教授であり、テレビ・新聞等のメディアでも多数活躍の医師、當瀬規嗣先生をお迎えしました。當瀬先生には、ウイルス感染の仕組みや、感染によって私たちの体に起こる反応、予防と対応策、今後の新型コロナウイルスの見通しなどについてご講演いただきましたが、イラストを多数取り入れた分かりやすいスライドに合わせて、専門用語が多く難しいはずのお話をユーモアに変えながら、参加者を飽きさせることなく、沢山の日常生活に役立つ知識を提供してくださいました。そのおかげもあり、殆どの参加者が熱心にメモを取りながらも、時折笑い声も聞こえる温かい雰囲気での講演会となり、2時間があっという間に感じる講演となりました。

お陰様で、本講演会には、対面及びオンラインを併せて、50名を超える方々にご出席いただきました。「タイムリーなテーマで理解が深まった」「話に引き込まれてあっという間でした」のような嬉しいご感想もいただいております。

この度ご出席賜りました皆様に感謝申し上げるとともに、次年度についても後援会会員の皆様や地域の皆様にお役立ていただける有意義な講演会を企画していきたいと思しますので、どうぞご期待ください！



地区懇談会の開催

保護者の皆さまに大学を深くご理解いただく場である地区懇談会も2019年以来3年ぶりの開催となりました。

● 2022年10月1日（土） 13：00～15：30 天使大学 2303講義室 ●

後援会会長、学長、看護学科長、栄養学科長を始め、両学科の指導教員が参加し、各学科長より授業概要および就職状況の説明が行われ、その後、希望者に対しては個別面談が行われました。

来年度の開催につきましては、次号の会報（7月発行予定）でご案内いたしますので、多くの保護者の皆さまのご参加をお待ちしております。

ご案内

卒業式（卒業証書・学位記 授与式）

日時：2023年3月15日（水）

看護学科・看護学専攻 10時00分 開式

栄養学科・助産研究科・栄養管理学専攻
14時30分 開式

場所：天使大学 体育館（2号館5階）

入学式

日時：2023年4月4日（火）

看護学科 10時00分 開式

栄養学科・助産研究科・看護栄養学研究科
14時00分 開式

※3月1日時点での予定